▲教育長の使命は一人一人の子どもを見守ること

教育長の危機管理を問う

答弁＝飲酒は調査をして報告する

公明党

宮尾　尚子

子ども達を取り巻く最近の教育環境の危機的状況を思うとき、我が町も避けては通れない危機管理能力が必要不可欠と思われる。

子ども達を預かる重要な職責を担う教育長に問う。

①「不登校生徒」の把握、対策、行動は。

②いじめの実態、指導、保護者との連携は。

③蓮池小学校の自然学校の研修中に、2階から転落した児童に対する保護、治療、保護者への対応は適切であったか。

④「指導力不足教員」の人事管理と、指導は。

⑤教員のリーダーである主幹教諭が播磨町ではなぜいないのか。

⑥子ども防災キャンプの宿泊研修中、子ども達が寝てから、町職員による酒盛りともいえる飲酒が行なわれている。保護者の間でひんしゅくを買っているのをご存知か。

答弁＝松田教育長

①町では、今年度から全小・中学校に配置したスクールカウンセラーなどと連携を取り対策に力を入れている。

②いじめ件数は2件。いずれも解決済み。しかしいじめの性格上、これからも見守っていく。

③救急体制については万全を期している。保護者に対する説明は、付き添っていた教頭があたった。

④指導を要する教員については、学校内と教育委員会が連携して個別指導をしている。

⑤主幹教諭の対象が54歳以上に限られたので、希望者がなかった。

⑥飲酒に関しての事実関係を調査して、報告をする。

長寿祝い金の見直しを

播磨町の長寿祝い金制度は、満80歳から「2万円、3万円、5万円、7万円」と5歳刻みで支給額が増額して贈呈されている。この制度が創設されてから、高齢者の方々から不満の声をよく聞く。

以前のように、もう少し早い年齢から、少額でも毎年支給されるような制度に見直すべきでは。

答弁＝枡田理事

現状で継続する

開始年齢の設定によっては、多額の予算が必要となる。また、他に高齢者の多くの方々が満足するような施策も必要との観点から、現状で継続する。

▲多くの通勤車が通り抜ける危険な通学路

安心・安全のまちづくりを

答弁＝連携して安全対策を推進

岡田　千賀子

町内の道路は、交通量に対して整備が常に後手に回っています。その結果、幹線道路などで渋滞が生じ、それを避ける為に生活道路を抜け道として利用し、住民が危険な状態にあります。

特に、南小・中・高校の通学路は重なっており、朝、時を同じくして東西の新島内の企業に向かう車が数珠繋ぎで子ども達の真横を走ります。さらに方向指示器も出さず猛スピードで走る悪質ドライバーもいます。

毎朝、老人クラブ・PTAの皆さんが立ち番をしていますが危険を感じることも度々です。

「地域の目、注いで守る通学路」との標語がありますが、地域活動にも限界があります。

大きな事故が起こってからでは遅いのでは。

①効果的な安全対策は。

②関連企業と地域代表者との協議会は。

③浜幹線道路の進捗状況と予定は。

答弁＝清水町長

①交通規制の実施などは地域の協力が必要です。自治会内で協議し、要望してください。

また、布池線の交差部分には南北の一時停止を本年中に実施し、安全対策の電柱幕は来年度予算で対応します。

②毎年、春と秋には企業と行政が一緒に「生活道路の通行禁止運動」を実施しています。通勤手段を路線バス利用に転換するよう、さらに呼びかけます。

③町道浜幹線の新設事業は1070mの約1/3（西側～田中道まで）の用地境界確定作業と14件の物件調査中。進行状況は約20%程度で、用地買収と2件の物件移転補償契約を予定しています。

これからも皆さんと協力して通学路・生活道路の安全対策につとめます。

駅をバリアフリーに

人に優しい町、誰もが利用できる山陽電鉄播磨駅への対策は。

答弁＝清水町長

ソフト面でのサポートを

山陽電鉄側も設備投資力にかぎりがあるので今すぐの改修予定はありません。

しかし、要望は真摯に受け止め、山陽電鉄にさらに働きかけます。

また、車椅子の方も駅を円滑に利用出来るように、何らかの方法で周知徹底し、まずソフト面でのサポートから手掛けます。